Vol.2015-CE-129 No.14
2015/3/21

教育の情報化の現状と展望　―情報処理分野への期待―

ベネッセ教育総合研究所　理事長　新井健一

教育の情報化は、児童生徒１人１台のタブレットPC環境による実証事業（文科省・総務省）の後、デジタル教材等の標準化事業（文科省）、クラウド技術により、学校間や学校と家庭をシームレスにつなぐ先導的な教育体制の構築事業（文科省・総務省）など、新たな事業が相次いで立ち上がり、民間でも団体や企業が、これまでの枠を超えて協力し合う動きがスタートするなど、新たな局面を迎えている。これらの背景には21世紀型の学びへの転換があり、諸外国においても、その傾向は同様である。2020年の新課程に向けて、新たな学びの実現には教育の情報化の推進は重要であり、情報処理分野の果たす役割は大きい。

ⓒ2015 Information Processing Society of Japan